

Mobirta Pitch Deck

モビリティの管理を、スマートに。

PROBLEM

課題

事業で使われる自動車のタイヤ





社有車の利用前、タイヤチェックはあまり行わない

PROBLEM

タイヤは、適正な空気充填により本来性能を発揮

空気圧を正しく管理すると、運行コストの節約が可能となる



タイヤ寿命が20%伸びる
(ミシュラン Webサイト)



燃費が6%良くなる
(JAF Webサイト)

PROBLEM

タイヤ空気圧を管理しないと、パンク故障が増える

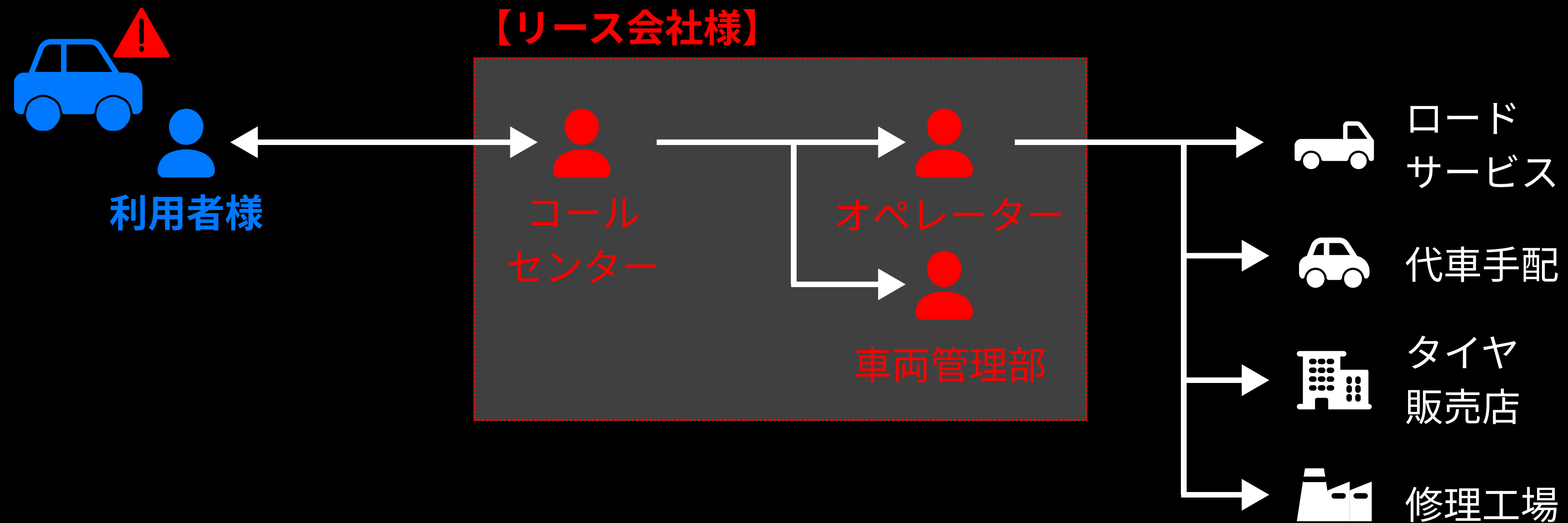
パンクは空気圧不足が主要因。空気圧不足だとパンクのリスクが3倍になる（JTAMA、米国NHTSA調査結果）
40%の自動車が空気圧不足で走行している

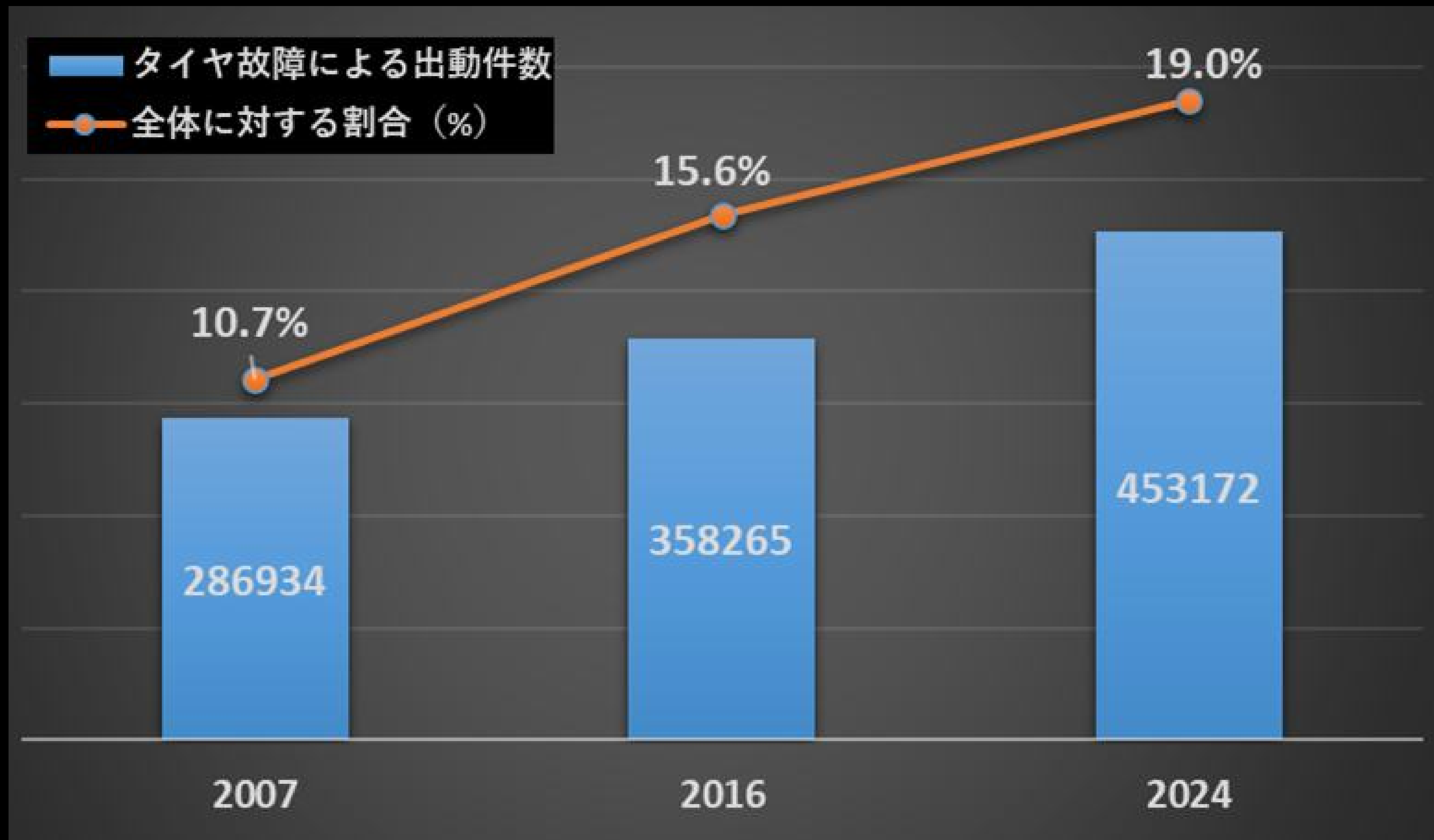


PROBLEM

タイヤ破損が発生すると...

緊急対応が必要。リース会社が対応に追われるだけでなく、利用者にとっても機会損失が発生





タイヤ故障のロードサービス出動件数が、20年で1.5倍に増加



チェックしてくれる人がいなくなった

セルフ式ガソリンスタンドの増加＋修理機会の減少



何故ドライバーはやらないのか？

PROBLEM

ドライバーがタイヤ空気圧管理を行わない理由

(JATMAアンケート結果)

1位：チェックする方法が分からない (47.2%)

--→ 今まで誰かがやってくれていた。

2位：面倒 (36.9%)

--→ 故障リスクや運用コストは管理側の課題。

PROBLEM

タイヤ空気圧チェック・メンテナンス作業フロー

チェック作業（毎日）

1. ツール（エアゲージ）を取りに行く
2. タイヤへ移動 → しゃがむ → キャップ外す → ゲージをあてる → 数値を記録 → キャップを戻す
3. 2の作業を、タイヤ4本分行う。
4. ツール（エアゲージ）を返却する

空気充填作業（空気圧不足のタイヤがある場合）

1. ツール（エアタンク）を取りに行く
2. キャップを外す → ホースをあてる → 指定空気圧まで空気を入れる → キャップを戻す
3. 2の作業を、タイヤ4本分行う。
4. ツール（エアタンク）を返却する

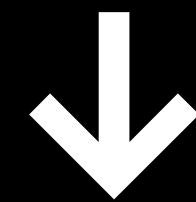
PROBLEM

タイヤ空気圧チェック・メンテナンス作業フロー

チェック作業（毎日）

1. ツール（エアゲージ）を取りに行く
2. タイヤへ移動 → しゃがむ → キャップ外す → ゲージをあてる → 数値を記録 → キャップを戻す
3. 2の作業を、タイヤ4本分行う。
4. ツール（エアゲージ）を返却する

複雑で面倒な作業



空気充填作業（空気圧不足のタイヤがある場合）

1. ツール（エアタンク）を取りに行く
2. キャップを外す → ホースをあてる → 指定空気圧まで空気を入れる → キャップを戻す
3. 2の作業を、タイヤ4本分行う。
4. ツール（エアタンク）を返却する

省人化・自動化

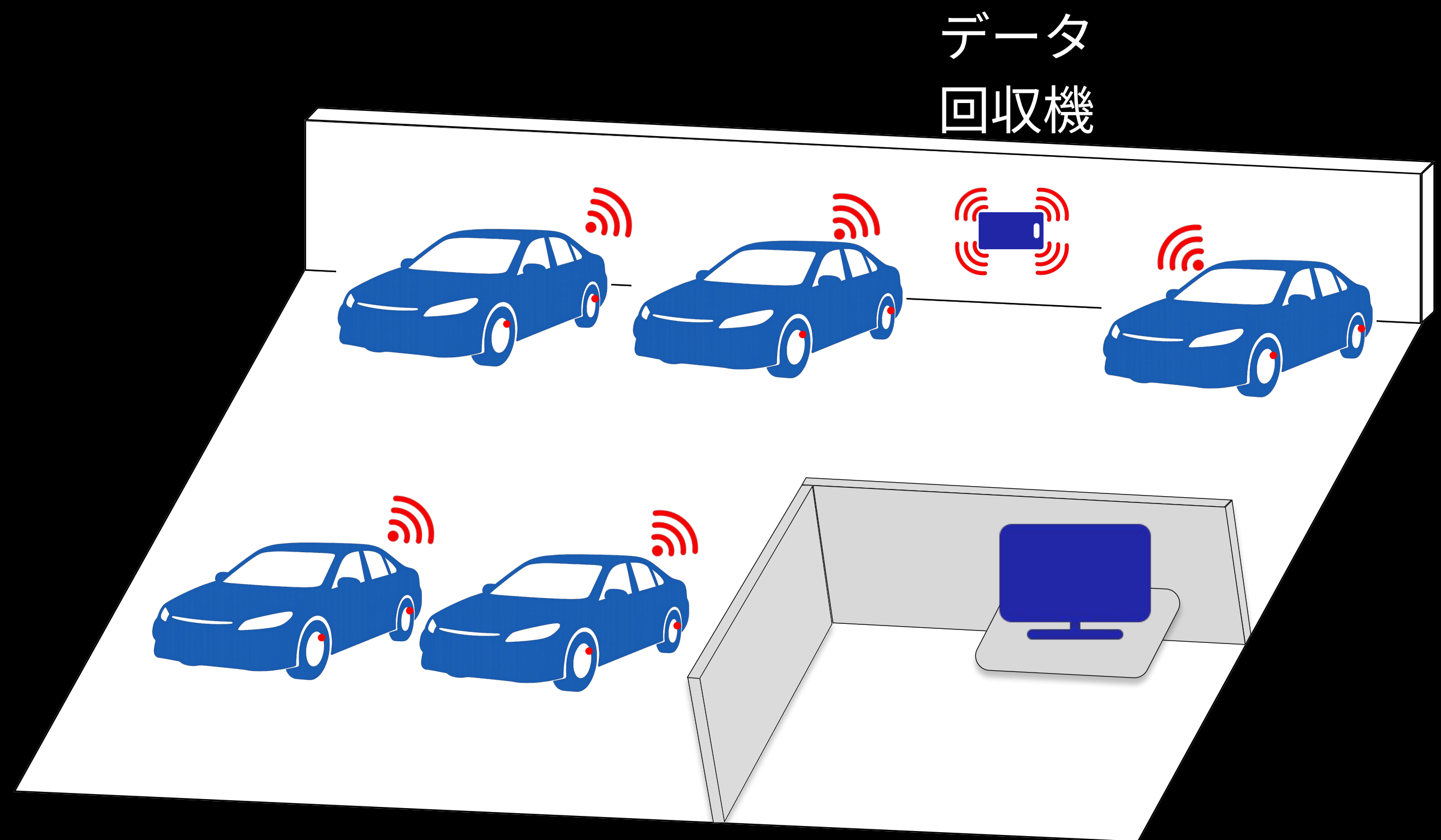
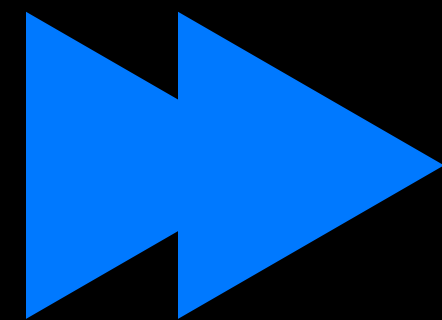
PRODUCT

タイヤ管理DXサービス（①日常点検）

- ・ ホイールのバルブキャップにセンサを装着
- ・ 始業前に営業所に駐車している車の空気圧データを収集する



ホイールのバルブキャップ
にセンサを装着



PRODUCT

タイヤ管理DXサービス（①日常点検）

- 乗車前に表示結果を確認することで空気圧チェックが完了する（点検表に記入）
- メンテナンス（空気充填）が必要な車両も一目でわかるようになる

車両ID	ナンバープレート	結果	FL	FR	RL	RR
1013	名古屋301 も XXXX	○	235	234	232	231
1025	名古屋301 ひ XXXX	○	230	230	230	230
1026	名古屋301 る XXXX	○	232	231	234	230
1037	名古屋301 た XXXX	▲	210	208	209	205
1038	名古屋301 あ XXXX	○	228	225	224	221
⋮						



- ：OK。異常なし
- ▲：空気充填が必要
- X：パンクの可能性

PRODUCT

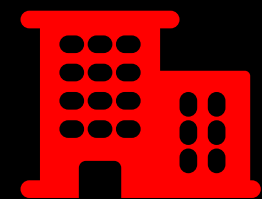
特徴

- ・ **現場サイド（ドライバー）への説明負担が軽い**
--→ センサを装着するだけ。あとは従来通り業務を行えばOK
- ・ **台数が多いほどメリットが大きくなる**
--→ 1台当たり月●●円という料金体系ではなく、
営業所単位での導入のためスケールメリットが出せる

PRODUCT

導入メリット

リース会社様、リースご利用のお客様両方ともメリットを享受できる



リース会社様

<働き方改革>

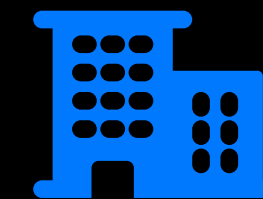
カスタマーサービスの効率化
(故障が減り定期的な交換業務だけになる)

<コスト削減>

タイヤコスト削減 (▲20%)

<お客様への価値提供>

お客様に対し、安全と経済性を両立した
新たなサービスとして提案できる



リースを利用のお客様

<働き方改革>

タイヤ日常点検の省人化
(1台当たり 23時間/年)

<コスト削減>

燃料代削減 (▲6%)

<安全>

タイヤ故障防止による安全運行の実現

PRODUCT

タイヤ管理DXサービス（②空気充填作業）※開発中

IoTセンサによる日常点検の結果、メンテナンスが必要な車両に対してロボットが空気充填作業を実施





Mobirta
